

総会および懇親会のお知らせ

事務局 市川 文久(S45年卒)

第3回野田建築会総会・懇親会のご案内を致します。

今回は会員の方々の利便性を考慮し都内でウィークディの夜に開催する事に決まりました。第2回総会から2年が経過しその間に12回の役員会を開催し活動してきました。各部会の過去2年間の活動報告と今後2年間の活動方針を会員の皆さんと審議し、より良い同窓会として発展させるため多くの会員の方々の出席をお待ち致します。

総会 日時：平成14年5月24日(金) 18時～18時50分
場所：理窓会館2階会議室 新宿区神楽坂2-13-1
末よしビル 電話 03-9260-0725
懇親会 総会終了後、同上会議室にて引き続き開催
時間：19時10分～21時(1時間50分)
会費：4000円/人

* 総会・懇親会出欠・委任の連絡は同封の用紙に記入しファクス送付下さい。
野田建築会ファクス送付先 FAX 0471-25-7533

平成14年度版名簿の発行について

名簿部会 涌井 栄治(S60年卒)

野田建築会名簿平成14年度版ができあがりしました。会員の皆様には、昨年度の会費納入者の方々より順に発送を開始しております。

今回発行された名簿は、工学部同窓会「築理会」名簿との合冊となっております。野田建築会と築理会は2年前より交流を深めており、その一つの事業として両会の名簿を合冊して刊行することになりました。形状は今までのものと変わらずA4版サイズですが、収録人数が約9,000名となり、厚さは17mmにもなります。名簿本体部分は各同窓会で編集したものです。索引は共通のものとなっております。巻末には、今回より企業広告を載せております。これは、名簿発行費や本会の運営費の一部に充填されることとなります。今後も隔年で合冊名簿として刊行することにしていきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

記載内容につきましては、名簿部会において努力してきた結果ですが、誤記や変更、また未掲載や広告掲載のご要望などございましたら、ご連絡をいただくと幸いです。

会員の皆様にはこの新名簿をご活用の上、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

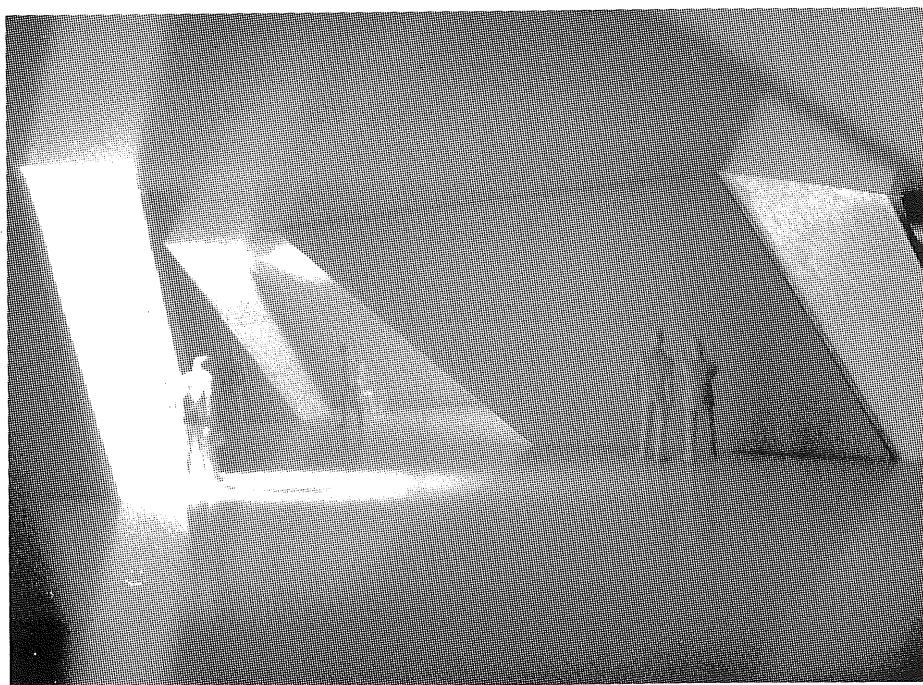
研究室紹介

山田 俊之先生（奥田研究室助手）

奥田研究室は 2002 年度で 26 年目を迎えます。
30 名ほどが在籍している状態は変わりません。エコハウスの居住実験も一段落し、現在の研究テーマは、リニューアルやシークエンス、CAD ネットワークでの協調設計といった幅広い内容を扱っており、再度建築計画を見つめ直して、設計方法について研究を行っています。

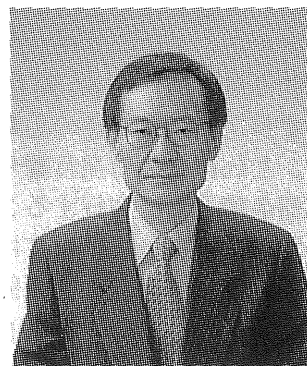
最近のトピック

群馬県東村立新富弘美術館建設国際設計競技に応募した結果、応募総数 1211 件の中で、奥田研究室の作品は入選を受賞することができました。



奥田 宗幸先生 経歴

- 1968 年 横浜国立大学工学部建築学科卒業
 - 1970 年 東京大学大学院修士課程修了
 - 1973 年 同大学博士課程修了、東京理科大学助手、ミラノ在外研究員
 - 1992 年 東京理科大学理工学部建築学科教授。
- 現在に至る
主な著書；「図解 すまいの寸法・計画事典」
「CAD による建築設計製図」など多数。



第3回現場見学会開催される

三井建設(株) 山田 哲也(S59年卒)

2001年12月13日に野田建築会事業部会主催の見学会を開催した。場所は、渋谷駅から歩いて5分程のところにある地上34階建ての超高層マンションの現場である。参加者は15名、内3分の2が学生で、平日ということもありOBは少なかった。

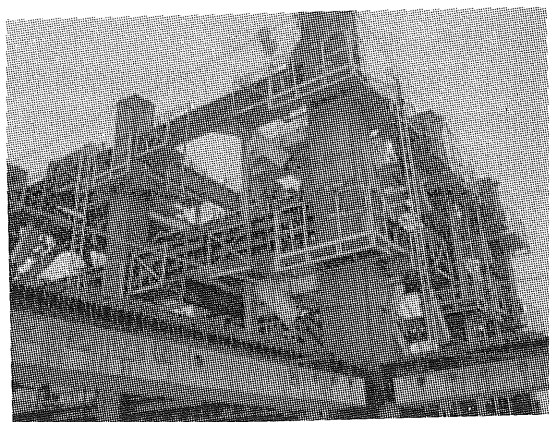
最初に、現場事務所の会議室で、三井建設(株)の野口所長他2名の方に、本現場の概要説明をして頂いた。資料を使い、同マンションの敷地概要・デザイン・構造的特徴・工法などの説明を受けた。

本現場は、昨今の都心回帰による超高層マンション建設ブームの中、渋谷という立地条件から、その注目度も高いようである。そのため、外観は、光井純&アソシエーツ建築設計事務所のデザインコンセプトに基づき、下層階から上層階にかけて、徐々に色彩が淡くなり、最上階は、都会の空に溶け込むようなデザインが施されているとのことであった。また、超高層のマンションということで、構造的にも、無柱空間を実現した大スパン架構やアンボンドブレース部材を用いた制震構造など興味深い技術が盛り込まれていた。今回の見学会に参加した学生は、皆構造研究室の方々に、特殊な構造形式に触れる良い機会になったのではないかと思う。

概略の説明を受けた後、軍手とヘルメットを着用し、現場へ移動した。見学当日は、17階まで施工が進んでいた。階段を使って一階から順番に上層階へ上っていった。マンションの工事は、躯体・設備・内装工事が、順番に実施される。下階から上階に行くに従い、マンション室内の各施工段階を把握することができる。

上層階では、大型スラブを支持するサポートが林立しているが、下層階ではサポートが撤去され、大きな無柱空間を実感することができた。また、アンボンドブレースの設置からそれが間仕切り壁によって見えなくなる過程などを見ることができた。

最上階に出ると、大型スラブのPC鋼線の配線・定着方法等を見ることができる。現場の最上階は、躯体工事の全てを目の当たりにできる場所である。コンクリートの打設、鉄骨の建て方、PC(プレキャスト)梁の設置、スラブの配筋過程など、工事完成後には表面に出てこない、躯体の本質的な部分に接することができた。



見学を終えて事務所に戻り、質疑の時間が設けられた。OBからは工事管理に関する質問、学生からは制震構造に関する質問などがあり、活発な質疑が行われた。

今回の現場見学は、あいにくの雨になってしまった。現場の足元が悪く、慣れない見学者にとって危険な箇所もあったが、現場所長の案内の下、無事見学を終了することができた。

その後、OBと学生の親睦を兼ねて、現場近くのビアホールで建設技術について議論する場を設け、全予定を終えた。

薬学部校舎建設工事—野田地区の再構築—

清水建設(株) 福原 清二 (S46年卒)

平成12年度東京理科大学卒業式に列席し、その後の懇親パーティーの席上で小浦理事長より『創立120周年の記念すべき年に、日本をリードする大学として広く活躍するためにも、学園の再構築への取り組みをはじめました。先ず薬学部を野田に移転し野田地区の再構築を完了させ、その後神楽坂地区の再構築を行う計画です。』と言うお話を伺った途端、私の胸は高鳴り我が母校の再構築に私のゼネコン人生を生かし、何か母校に恩返しができる第一歩のように感じずにはいられませんでした。それからは弊社の役員を中心とする営業部門に、是非私が施工したいので弊社が受注出来る様全面的な支援を頼み込みました。

今回の施工者選定方法には、総合評価方式が採用され、今までのコストのみでなく、提案を含めた幅広い要素が考慮されている為、全社を上げて様々な提案を思考しプレゼンテーションに臨みました。施工中のみならず竣工後も、大学にどのようにかかわれば貢献でき恩返しができるかを考えに考え抜いた案で発表しました。結果弊社が高得点を獲得し他社を振り切って受注することが出来ました。又、私は念願のプロジェクトマネージャーとして薬学部校舎の施工を担当することと成りました。

プレゼンテーションでは特に、『21世紀のコラボレーション・キャンパスの創造』と題して発表に力を入れました。又、施工にあたっては、弊社の総合力を十二分に活用することはもとより、弊社の特色である総合図による意匠・構造・設備・実験機器の情報を現場で統合し、大学・設計者・施工者間で情報を共有化することが出来、無駄・手戻りの無い確実な作りこみを考えています。又、施工中のコラボレーション・プログラムの具体的案としては、生きた教材を教育実習に活用した学生参加型の建設現場を目指しています。後輩たちと生きた会話が出来ると言う事で今から建築学科の教授と計画を立てるのを楽しみにしています。OBの皆さんも何か参考になる意見が有りましたら直接メール(下記)を頂ければ幸いです。

ふくはら せいじ/広島県

(E-mail:s.fukuhara@shimz.co.jp)

1971年東京理科大学理工学部建築学科卒業(森脇研究室) 清水建設本社建築部入社

1988~93 新東京国際空港公団成田空港第二旅客ターミナルビル建設工事

1991~93 新東京国際空港公団南地区総合管理ビル新築工事

1996~98 東京ディズニーアンバサダーホテル建設工事

1998~01 東京ディズニーシー・テーマパーク建設工事

2001~現在 東京理科大学薬学部新築工事

現在、清水建設千葉支店統括工事長

通信欄

NAA賞決定！今年度の受賞者は木原 勇信氏に決定しました。先日の謝恩会(3月20日)において賞状及び記念品が立見会長より授与されました。

発行 東京理科大学野田建築会 〒278-8510 千葉県野田市山崎2641

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~sut-naa/index.html>

郵便振替 口座番号 00130-9-27644 東京理科大学野田建築会

